

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

2020年派遣留学奨学生募集要項

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

書類受付締切： 2020年1月8日（水） 消印有効

上記の書類受付締切は佐藤陽国際奨学財団の締切です。
琉球大学内の提出期限は、2019年12月20日（金）です。
ご留意の上、申請書類を準備・提出してください。

このたび公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、派遣留学奨学生の募集を行います。募集対象者(応募資格者)は下記の通りです。申込書の記載にあたり、大学・学年等につきましては申し込み時点の学年をご記入ください。

I. 応募資格

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムへ留学を希望する日本国籍を有する学生で、下記の条件を満たす者

- ① 国際理解と親善に関心を持っている者
- ② 学習奨励金等の名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金またはそれに類する金品を受給していない者(学習奨励金、研究助成金などを受給している場合は、事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金、学費免除は応募可。)
- ③ 奨学生として合格後、異文化交流を目的とする当財団の交流会に必ず出席できる者
(留学の前後に開催される交流会に6回出席すること。留学報告会に出席すること。交通費支給)
- ④ 協定大学に在籍する学生であって、協定プログラムで定められた対象大学の在籍期間(履修期間)が6ヶ月以上かつ2セメスター以上ある者
- ⑤ 2020年9月末までに留学を開始する者。ただし、正当な理由でこの期日までに留学開始が難しい場合は、事前に財団までご相談ください。
- ⑥ 在籍大学における選考時の前年度の成績評価係数(※)が2.50以上の者(3.00満点)。
※成績評価係数の算出方法は募集要項の3ページをご覧ください。
- ⑦ 留学先での勉学・研究に支障のない語学力を有する者
- ⑧ 留学先国で就業又は居住している親がいない者
- ⑨ 当財団の奨学生を終了後、SATOMとして財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できる者(SATOM(サトム)とは当財団の卒業生の総称です。)

II. 奨学金

1. 支給額

月額: 80,000円(ただし、留学先国がシンガポールの場合は、月額120,000円)
奨学金支給開始時期は2020年4月に開催される認証式以降。
渡航月及び帰国月の1ヶ月未満は週割にて計算します。

渡航費等: 250,000円(用途:往復航空券、空港施設使用料等)

交換留学一時金: 100,000円(用途:予防接種等)

保険料及び海外安全危機管理サービス費の実費(上限150,000円)を負担します。

※ ダブルディグリーを取得目的とした留学で、学位が取得できた場合に限り、ダブルディグリー登録料等を支給します(但し、領収書提出必須)。

2. 支給期間 ① 派遣留学: 6ヶ月以上12ヶ月以内(2セメスター)
② ダブル・ディグリー・プログラム長期派遣留学: 満13ヶ月以上24ヶ月以内
奨学金の支給対象期間は、留学対象国に入国した日から履修期間(協定プログラムで定められた対象大学の在籍期間)を終えて当該国を出国する日までとし、「履修期間」+「履修前後の準備期間 合計30日」を超えない範囲とする。
(協定プログラム開始前に現地で語学学校に通う場合は、上記の「履修前後の期間30日」以内を支給対象とする。)
3. 支給方法 2ヶ月毎、2ヶ月分を本人名義の日本国内の口座に振り込む。

III. 募集人員

10~15名

IV. 書類受付締切

2020年1月8日(水) 消印有効

V. 応募方法

応募者は、2020年4月時点に在籍する大学の留学生課を窓口として、応募書類を当財団宛に郵送にて提出すること。(※は当財団所定用紙使用)

- | | |
|--|------|
| ① 申請書 (2枚) | ※別紙① |
| ② 指導教員推薦書(厳封) | ※別紙② |
| ③ エッセイ (1枚) | ※別紙③ |
| ④ 派遣留学計画書 | ※別紙④ |
| ⑤ 経費計画書 | ※別紙⑤ |
| ⑥ 研究計画書 (2020年4月時に大学院在籍学生のみ提出) A4サイズ1枚、ワープロ可 | |
| ⑦ 在籍証明書 | |
| ⑧ 学業成績証明書(大学院生の応募者は、学部から直近までの学業成績証明書要) | |
| ⑨ 承諾書(保護者記入) | ※別紙⑥ |
| ⑩ 大学間交流協定書の写し | |
| ⑪ 応募者の留学スケジュール(履修の開始及び終了予定時期、帰国時のHOME大学の学年及び卒業予定時期等) A4サイズ1枚、ワープロ可 | |

VI. 選考及び結果発表

書面選考及び面接選考

- ・ 書面選考の結果は、2月中旬に留学生課宛てに通知する。
- ・ 面接選考は3月7日(土)及び8日(日)に東京にて実施する(日本国内交通費支給)。
面接選考での自己PRは英語で行う。

- ・ 面接選考の結果は、3月中旬までに留学生課宛てに通知する。
- ・ 合格した学生は東京で行われる「説明会：4月4日(土)」及び「認証式：4月5日(日)」に必ず出席すること(交通費支給)。

自然災害等で面接選考ができない場合は、書面により選考し、合格発表日を延期することもあります。その場合は、面接選考日の2日前までに大学の留学生課宛に通知します。面接選考ができない時は財団ホームページに掲載しますので、面接選考者は必ず財団ホームページにて最新情報を確認してください。

VII. 留意事項

1. 派遣留学奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがある。(「奨学生規則」を当財団ホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください)
 - ① 留学期間中に無断で帰国した場合
 - ② 交流会を無断で欠席した場合
 - ③ 「生活報告書」その他提出物を期限内に提出しなかった場合
 - ④ 指導教員から修学または研究の継続が不相当とされた場合
 - ⑤ 学業成績が不良の場合
 - ⑥ 休学・転学の場合
 - ⑦ 法律や社会秩序に反する行為を行った場合
 - ⑧ 財団の名誉を傷つける行為をした場合
2. 合格した時点で派遣先大学の承認を得られていない場合は仮合格者として扱い、その後、承認を得られなかった場合には合格を取り消す。
3. 「HOST 大学の入学許可証(写し)」を入手次第、HOME 大学を通して提出のこと(必須)。
4. フォーマットのある申請書、計画書等の記入は全て自筆とする。

《成績評価係数の算出方法》

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出してください(小数点第3位を四捨五入)。前年度の成績がない場合は、選考時の前学期分の成績から算出してください。段階評価がなされない「認定」等の場合は計算(分母及び分子)から除外する。

4段階評価(パターン1)	—	優	良	可	不可
4段階評価(パターン2)	—	A	B	C	F
4段階評価(パターン3)	—	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン4)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

《応募資料送付先》

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 派遣留学係

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-7-1

TEL: (03) 5487-2775 FAX: (03) 5487-8632

E-mail: sisf@sato-global.com

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
2020年派遣留学奨学生申請書

財団使用欄

受付日: 20

番号: _____

氏名	氏名			性別	男・女
	パスポート記載の英文			年齢※	歳
生年月日(西暦)		年 月 日			
E-mail Address		@			
携帯電話番号 (ない場合は固定電話番号)		() -	国籍 日本		
現住所		〒	最寄り駅 線 駅		
HOME(在籍)大学	大学名(学部・学科・研究科・専攻も明記) <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士 学年 年			指導教員名:	
	留学生課 担当部署	所在地		電話番号 () -	
		担当部署名		FAX 番号 () -	
		担当者名		E-mail	
HOST(留学先)大学	大学名(学部・学科・研究科・専攻も明記) <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士 学年 年			留学先国	
	HOST 大学在籍予定期間 2020年 月～ 年 月			同国滞在予定期間 2020年 月～ 年 月	
	留学目的 <input type="checkbox"/> 交換留学(単位互換可) <input type="checkbox"/> 交換留学(単位互換不可) <input type="checkbox"/> ダブルディグリープログラム <input type="checkbox"/> その他()			成績評価係数(前年度・前学期)	

申込日 20 年 月 日

【受付番号票】(大学名、氏名を記入のこと)

大学名	氏名
大学	様

派遣留学奨学生申請書を _____ 番で受け付けました。

受付年月日 _____

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

学部・学科・研究科・専攻も明記。編入・飛び級・休学などについても記入する。							
学歴	年 月	高校				卒業	
	年 月	大学	学部	学科	入学		
	年 月						
職歴	期間	勤務先名	所在地	職務内容(在籍状況)			
	年 月				在籍・休職・退職		
	年 月				在籍・休職・退職		
語学力	英語力	点数		受験年月			
		TOEIC	点/990点		年	月	
		TOEFL	点/点		年	月	
		IELTS	/ 9.0		年	月	
		英検	級		年	月	
		その他	/		年	月	
	留学先言語	自己評価(A・B・C)	読む() 書く() 話す() 聞く() 議論する() 発表する()				
		修学言語(講義言語):	その能力及び学習状況				
		公用語:	その能力及び学習状況				
	その他	その他の言語力					
留学先大学受入許可状況	<input type="checkbox"/> 達成済 (合格連絡: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 未) <input type="checkbox"/> 未達成		(留学・居住)	海外経験			
	達成基準						
	達成計画	未達成の人は、合格するための計画を記入		受賞歴			
国際交流・社会貢献活動	具体的に記入(※必須)						
家族構成	氏名	関係	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名(学科)	留学経験	
緊急連絡先	氏名:	申請者との関係()			日中連絡が取れる電話番号 () -		
	住所:〒						
奨学金等	受給中の奨学金等 有(給付・貸与)・無		名称	受給金額(月額)	受給期間		
	併願中の奨学金等 有(給付・貸与)・無		名称	発表日			

エッセイ

下記より選んだテーマに○をつけて、個性豊かなエッセイを、英語で書いてください。
文字数は 240 単語程度で作成してください。(このエッセイは、ワープロでの作成を認めます)

記入日: 20 年 月 日

1. 留学先で紹介したい日本の誇る素晴らしいモノや人について
2. 現在、自分が関わっている異文化交流について

氏名: _____

経費計画書

記入日: 20 年 月 日

氏名: _____

	費用項目	金額(円)	内訳・算出根拠等
生活費	家賃 (対象予定に○をつけてください) ・寮(人部屋) ・ホームステイ ・シェアハウス ・アパートメント ・その他()		円/月× ヶ月分
	食費		円/月× ヶ月分
	水道光熱費		円/月× ヶ月分
	通信費		円/月× ヶ月分
	通学費		
研究費	書籍代		
	学費		
その他	保険料		
	予防接種		
	往復渡航費用		
	ビザ代		
合計			

(記入時の注意)

- ・ 留学期間中に予定される支出を日本円に換算して記入する。
- ・ 学費の項目は留学先(HOST)大学に支払うものがあれば記入する。
- ・ 在籍(HOME)大学への学費は記入不要。

年 月 日

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
代表理事 藤田 昌子 殿

承諾書

HOME 大学名： _____

応募者名： _____

上記応募者が、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の派遣留学奨学生に採用が決まった場合は、留学を承諾します。

住所： _____

氏名： _____ 印

(応募者との関係： _____)